

青年交流会について

担当理事 杉本勝則

日中関係学会では2か月に一回、定例の研究会を開催し、70～80名、多い時で100名近くの参加者を集めていますが、そのほとんどは社会人ですし、日中関係の専門家のみならず、大御所と呼ばれる様な方も多く来られています。この研究会では講師に対して質疑応答の時間を設けていますが、学生の皆さんにとっては諸先輩や大御所の先生方を差し置いて講師に質問するのはなかなか勇気のいることですし、また、研究会の後には会場で軽い懇親会を行い、講師をはじめ大御所の先生方と自由に意見交換できる機会を設けているのですが、いつもそのような方々の周りは社会人の諸先輩方が取り囲んでいるので若者たちは立ち入るスキもないままに先生方と自由に意見交換ができる折角の機会を逃しています。

学生・若者達が講師や高名な方々と直に自由に話ができその警戒に触れる機会を作れないものかと考えたところ、それでは、若者達だけの少人数の会を作ってしまう、そこに大御所の先生方や各方面で活躍されている実務家、文化人、研究者の方々をお呼びすれば、

若者たちは何の気兼ねもなくこれらの方々と自由に話ができ、これからの人生の糧になります。

また、講師を中心に若者達同士が意見を交換することで若者達の横のつながりもできますし、講師の方も直に若者達と接することでSNSなど最新の若者事情を知ることができます。

そこで、日中関係学会の若者達の事業として青年交流会を立ち上げ2か月に1回の割合で講師を呼んでお話を伺うと共に、自由な意見交換が行えるようにいたしました。

これまでに、大御所の先生方としては日中関係学会会長の宮本雄二元中国大使、中国の刑法学に多大の貢献をされた西原春夫元早稲田大学総長、村山談話を作成された谷野作太郎元大使、金融マフィアとして世界的に有名な行天豊雄元財務官、大平正芳元総理の秘書官を務められ通産省次官等を経て東洋大学理事長をされている福川伸次先生等々に来ていただきましたが、この会では学生、若者の皆さんにより良く社会の実際を知っていただきたいとの趣旨から、社会の各分野で活躍されている、商社や銀行で実務を担当されてきた方、地球環境問題の研究者、日中文化交流に携わっているライター

等を大御所の先生方と交互にお呼びし、お話を伺うと共に意見交換を行っています。

また、会の運営は寺小屋風で、夕食の弁当を講師と共に頂きながら始めます。参加資格も原則は日中関係学会員ですが、日中関係に関する問題に関心のある若者なら会員に限っていませんし、中国人、日本人に留まらず、韓国、スイス、ポーランドの学生も来ていますので、国籍を問わず日中に興味のある方、或いは人生の先輩の話を聞いてみたいと思う方には登録をしていただき参加して頂きたいと思います。

宮本雄二会長と学生達



西原春夫前顧問（元早大総長）と学生達



福川伸次前会長(東洋大学理事長)と学生達

